

Indonesia Weekly

2021年12月27日

(対象期間：2021/12/20～2021/12/24)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2021年12月24日)

【株式市場】

週初はインドネシアでオミクロン株の感染が続出したことや、欧州の一部でロックダウンなどの行動規制が行われていることなどを背景に世界的に投資家のリスクセンチメント（市場心理）の低下が見られ、インドネシア株式市場も下落しました。インドネシア政府が外国人の入国者の隔離制限を従来の10日間から14日間への延長を検討すると報道も嫌気されました。その後も外国人投資家からの資金流出が続き、週半ばにかけて下落しました。インドネシア株式市場は前週末比下落しました。

2021/12/17	2021/12/24	変化率
6,601.93	6,562.90	-0.59%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2021年12月24日)

【債券市場】

週初から外国人投資家からの資金流出がみられたものの、目新しい材料が無い中でインドネシアの債券利回りは低下（価格は上昇）しました。21日の政府の発表によると、11月末時点の財政収入は前年同期比19.4%増と2021年6月以降持続して増加しました。スリ・ムルヤニ財務大臣は通年の財政収入が目標を超えるとしながらも、2021年の財政赤字については対GDP比5.0%～5.2%の範囲内でみている一方で、オミクロン株の感染拡大による経済への影響には引き続き注視が必要であると述べました。10年国債利回りは前週末比低下しました。

2021/12/17	2021/12/24	変化幅
6.434	6.342	-0.092

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2021年12月24日)

【為替市場】

米連邦公開市場委員会（FOMC）など注目された主要先進国の政策決定会合などの主要な材料を受けた後、世界的にリスク資産の買い戻しが見られ、ルピアは安定的に推移しました。オミクロン株が従来の新型コロナウイルスよりも重症化リスクが低い可能性があるとの報道もリスク資産のサポート材料となりました。21日のスリ・ムルヤニ財務相の会見でインドネシアの経済回復を背景に財政収入が増加傾向にあると述べたことも好感されました。ルピアは対円、対米ドルともに前週末比上昇しました。

2021/12/17	2021/12/24	変化率
0.7907	0.8056	+1.88%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。